



UMEX 夢っくす ニュース

かわらばん

新入生歓迎パーティー

角屋 志津子

総会



7月20日(土)に浦佐にある「えづみや」にて今年度のうおぬま国際交流協会の総会を行いました。

今回の総会では副会長の櫻井徳治さんが退任され、新しい副会長に角屋志津子さん、また、日本語部会担当に、野口勤さん、篠田幸枝さん、イベント部会担当に平野浩子さん、サロン部会担当に佐々木絵美さんをお迎えし、運営委員のメンバーが一新されました。

今後はこの新しいメンバーで協力しながら運営してまいります。宜しくお願い致します。(高橋 和子)



9月21日(土)に国際大学で夢っくすの新入生歓迎パーティーが行われ、数年ぶりに参加させて頂きました。今年はいいにく雨降りの中での開催となってしまいましたが、高橋会長を中心として皆さんで食材や道具の準備し、会場設営におにぎり作りと協力して、何とか開催することができました。雨降りのため学生さんが来てくれるのかとても心配していましたが、100名近くのたくさんの学生さんにご参加頂き、焼き手が追いつかないくらいに用意したお肉とおにぎりもあっという間に完食され、とても大好評でした。

今年も多くの国からたくさんの学生さんが来て、皆さん自己紹介をするなど交流されて、とても和やかに楽しい歓迎会ができたのではと思っています。そして、これから過ごす国際大学での生活がとても充実したものであることを願っております。私自身も学生さんとの交流を大切にし、夢っくすの益々の活性化に協力して行きたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します!



新入生歓迎の日に参加して

高橋 和子

9月27日(金)に国際大学体育館にて新入生歓迎の日が行われました。今年は55カ国の国と地域から219名の学生さんが入学し、在学学生を合わせると今までの最高の在籍数となるそうです。

夢っくすサロン(火曜日、土曜日午後1時~3時)の方にも新入生が毎週遊びに来てくれて、コロナ前のような賑やかなサロンになってきています。日本語チューターの申し込みも多く頂いております。会員の皆様も是非サロンの方へ遊びにいらしてください。お待ちしております。



新年会のお知らせ

新年会の開催を予定しています。

日付: 2025年1月19日(日)

時間/場所/内容等は後日、メールでお知らせします。

皆様のご参加をお待ちしております。



Happy Halloween ♪

平野 浩子



10月27日(日)にキッズ向けハロウィンイベントを開催しました。秋晴れの中、元気いっぱいな子供達が多く参加してくれて、賑やかで楽しい午後のひとときを過ごすことができました。少し前から構想を練り、会員の皆さんに相談しながら何とか辿り着いた当日・・・。

ハロウィンにちなんだパンプキンバスケットやケープを手作りして、その後はビンゴゲームで盛り上がりました。小学生の大きな子供達はあっという間にハロウィークラフトを終えて、オリジナルな飾り付けをしたり、親子で参加してくれた小さなお子さんは、お手伝いしてもらいながら素敵な作品を仕上げ

てくれました。ビンゴゲームは「時の運」との戦いで、スムーズに5つのハロウィンキャラクターを揃えられた子もいれば、いつまでも「ビンゴ」にならなかったり・・・。波乱万丈な(笑)雰囲気になりながらもみんなでゲームを楽しみました。

フィナーレはお楽しみのお菓子のプレゼントです。「Trick or treat!」「Happy Halloween♪」と言葉を交わし笑顔でイベントを締めくくりました。

学生の家族として来日する子供達との交流も夢つくす大切な活動の一つであると思っており、母国を離れ初めての土地で生活している子供達と笑顔溢れる時間を



持てたこと、また、私自身、前任の担当者である角屋さんから引き継いだ初めてのキッズイベントでもあった為、不慣れな中ではありますが最高な時間を共有できたこと、本当に感謝しています。

イベントの開催にあたり沢山のご支援ご協力を頂き、有難う御座いました。次回もパワフルな子供達と会えることを楽しみに、皆様のご参加をお待ちしております。今後とも宜しくお願い致します。



母国紹介に参加して

小島 由美

11月2日(土)に夢つくすサロンで母国紹介がありました。今回はウクライナの学生マリアさんが、出身地リヴィウ市についてプレゼンテーションしてくれました。この日は奇遇にもベトナム人の卒業生Tuanさんが登場したので、大きな拍手で歓迎し、近況を報告し合いました。Tuanさんは「サロンは変わりないですね！学生は夢つくすを知っているといいですよ！」と更に流暢になった日本語で言ってくれました。私たちは感慨無量でした。

さてリヴィウには、5世紀頃から存在が確認されている旧市街があります。観光地として有名な美しい街で、1998年にユネスコ世界遺産に登録されたそうです。マリアさんのお薦めは市庁舎の塔から街を見下ろし、パノラマビューを楽しむことです。リヴィウではカトリック教会、アルメニア教会、正教会を一度に訪れることができます。バロック様式、ルネサンス様式などが街に調和して存在しており、その多様性と独自性に驚かされます。皆さん、ぜひご自身で写真を探して見てください。

その多様性は、料理にも発揮されています。マリアさんからリヴィウは食べ物美味しいとは聞いていましたが、それが古い歴史に基づいていることを知りました。ここにはウクライナ、西ポーランド、東オーストリアなどが影響し合い、融合した「ガリツィア料理」があります(ガリツィアは、リヴィウを含むウクライナの南西部にあたります)。例えば、ポーランドから伝わったピエロギに焦げ目をつけた、リヴィウ風ピエロギ(じゃがいもやチーズを餃子のように包んだもの)や、ウィーンの影響を受けた、リヴィウ風ザッハトルテ(ややシフォンケーキ寄りのチョコケーキ)、ふわふわのパンケーキ(日本でも流行したものと似ている)などです。それから最も代表的なスイーツは、チーズケーキです。これはアメリカのチーズケーキのルーツと言われており、ドライフルーツやナッツが入っていて、濃厚な味わいだそうです。またウクライナはカフェ大国で、リヴィウでは特にコーヒーがよく飲まれるそうです。忘れてならないのは、ウクライナの代表的な料理「ボルシチ」でしょう。ボルシチは、ビーツの赤いシチューというイメージだと思いますが、マリアさんにとっては、緑のボルシチが”大好きなお母さんの味”だそうです。調べたら、「酸漿(スイバ)・スカンボ」を使ったシチューでした。ネットに、ウクライナ人が書いたレシピが出ています。ほうれん草でも代用でき、気軽に作れそうです。

日本語交流会 with フリーマーケット

篠田 幸枝

今回、このようなイベントを企画したのは友人の一言『今年も自分の古着を学生に寄贈したいのだけれど』でした。同時期に他の会員の方も譲りたい物があるということで、今年は日本語の交流会とコラボレーションして開催することにしました。

フリーマーケットは毎年開催していましたが、今年は残り物がないように、不定期で小規模開催とすることにしました。今回はサロン内に日本語を話したい学生さんのための勉強コーナー、サロンの入口付近にフリーマーケットコーナーの二つを設けることにしました。

結局、何だかんだで次々と物を寄贈したい人が現れ、最終的にはフリーマーケットコーナーはすごい量になってしまいました。全部の物がなくなるだろうか…すでに学生へはお知らせのメール



が届いてはいましたが、不安に駆られ、準備の時から学生を見かけては宣伝をしてみました。こうした効果もあってか、当日は開始前から行列ができはじめました。一番人気だったのはやっぱり布団や毛布で、あっという間になくなりました。人波は途絶えることなく、常に賑わっている様子でした。

フリーマーケットが終了した後は日本語を話してみたいという学生がサロンを訪れ、和やかな雰囲気でした。お茶やお菓子を食べながら、日本人との交流を楽しんでもらえたようです。

日本語の交流会を開くと全く日本語を話せない学生さんとの出会いが少ないように感じます。今後は日本語が話せない学生さんも気軽にサロンに遊びに来てくれるように楽しい企画を考えて行きたいです。

最後になりましたが、今回はたくさんの会員さんにお集まり頂き、大変ありがとうございました。とても1人では運べない、並べられない量の品々でしたので、大変助かりました。フリマに出品された物たちが次の持ち主に渡って、不要品として処分されることなく、活用されていく取組みはとても良い事だと思います。みなさんが笑顔になれる企画を今後も続けていきたいです。



7月19日（金）に開催された南魚沼市兼続公まつりに会員と学生さんが行って来ました。その時の感想をメンバー出身の学生さん（Cinthiyar）から寄せて頂きました。

Memorable Muikamachi Summer Festival

The Muikamachi summer festival in Niigata Prefecture offers a captivating blend of tradition and innovation, creating a uniquely refreshing experience that defies the typical Japanese summer heat. As I arrived at the festival grounds near the summit of Mount Hakkai, I was immediately struck by the surreal sight of snow in midsummer, a stark contrast to the lush greenery surrounding it.

Dressed in a white yukata adorned with delicate red watermelon patterns, I felt a deep connection to centuries of Japanese summer tradition. The soft cotton fabric provided welcome relief from the heat, while the gentle swish of the fabric as I walked added a touch of elegance to my movements. Many other attendees were similarly attired, creating a sea of colorful yukatas that enhanced the festive atmosphere.

The centerpiece of the festival, a snow sledding slope created from preserved winter snow, drew squeals of delight from children and adults alike. The juxtaposition of sliding down snowy slopes while dressed in summer yukatas was both amusing and refreshing, perfectly encapsulating the festival's unique charm.

Throughout the day, the festival grounds buzzed with activity. Local mascots made appearances; their quirky charm was amplified by the contrast with the traditional attire of the attendees. On the main stage, performances ranged from traditional folk dances to modern music acts, with the swaying of yukata-clad dancers adding to the visual spectacle.

Food stalls offered a tantalizing array of summer festival classics and local specialties. Eating kakigori (shaved ice) while wearing a yukata felt quintessentially Japanese, the cold treat a perfect complement to the light summer garment. The regional sake, perfectly chilled by the mountain air, paired wonderfully with the grilled local vegetables, offering a taste of Niigata's rich culinary heritage. As the sun began to set, the festival took on a magical quality. The

…「母国紹介に参加して」の続き

私の今までのウクライナのイメージは、サッカーの英雄シェフチェンコさん、広大なひまわり畑、民話「てぶくろ」、赤いボルシチ、という感じでした。今回、マリアさんのお話を聞いて、リヴィウだけでも興味が尽きません。文化的にはウクライナらしさが最も色濃く、かつ欧州的でもあるようです。マリアさんは、私たちに話をすることが楽しかったそうで、今後も随時プレゼンテーションをします、と言ってくれました。個人的にはウクライナについて読書に勤しみ、マリアさんとお話を深めていけたらと思いました。多忙な中、時間を作って日本語で発表してくれたマリアさんに、とても感謝しています。

...「Memorable Muikamachi Summer Festival」の続き

yukatas seemed to glow in the golden light, creating a dreamlike atmosphere. Families and friends gathered on picnic blankets, eagerly anticipating the highlight of the evening - the fireworks display. The fireworks festival began with a bang as the first colorful explosions lit up the night sky. The display was a masterful choreography of light and sound, with each burst eliciting gasps and applause from the crowd. The fireworks reflected off the remaining snow on the ground, creating a mesmerizing interplay of colors. What made this fireworks display truly special was its setting. The cool mountain air, a stark contrast to the usual humid summer nights, made for perfect viewing conditions. The higher altitude meant the fireworks seemed closer, and more vivid, and the sound echoed dramatically off the surrounding mountains. As I stood there, surrounded by the festive crowd in their yukatas, watching the sky come alive with bursts of color, I felt a profound sense of community and tradition. The Muikamachi summer festival, with its unique blend of winter and summer elements, perfectly encapsulates the Japanese ability to harmonize seemingly contradictory experiences into something truly magical. For visitors seeking an unconventional summer festival experience, the Muikamachi event offers a cool alternative



that celebrates Japan's diverse climate and rich cultural traditions in a truly memorable way. It's a festival that engages all the senses - the sight of colorful yukatas and dazzling fireworks, the sound of traditional music and excited chatter, the taste of seasonal treats, the touch of cool mountain air, and the smell of gunpowder mingling with the scent of pine trees. It's an experience that lingers in the memory long after the last firework has faded from the sky.

Please join us at the Muikamachi Summer Festival! Celebrate culture, enjoy local foods, and wear your beautiful yukata for a memorable experience! Special thanks to the U-MEX team for arranging to see the festival! Your enthusiasm for wearing yukata and exploring cultural opportunities made the event memorable. We appreciate your support and perfect arrangement.

★★会員紹介コーナー★★

①一番行きたい国②興味のある言語③趣味や特技④夢っくすでやってみたいことは
⑤今やっている国際交流⑥一言どうぞ！

会員No. 520 武井 楓 (たけい かえで)

- ① オーストラリア
- ② 英語
- ③ 料理
- ④ 色々な国の方と話してみたい
- ⑤ 特になし
- ⑥ 楽しく国際交流できたら嬉しいです。宜しくお願いします。

会員No. 521 武井 直也 (たけい なおや)

- ① 世界一周
- ② 英語
- ③ 野球
- ④ 異文化交流、英語学習
- ⑤ 特になし

会員No. 522 若林 里美 (わかばやしさとみ)

- ① 韓国
- ② 英語、タガログ語
- ③ ハンドメイド作家として活動しています。
- ④ 色々な人と会話する
- ⑤ 特になし
- ⑥ よろしくお祈りします



新会員のご紹介

No.520 武井 楓 (魚沼市)
No.521 武井 直也 (魚沼市)
No.522 若林 里美 (十日町市)

★よろしくお祈りします★

UMEX うおぬま国際交流協会

UONUMA Association for Multicultural EXchange



入会方法

入会の申込書を夢っくすのホームページから入手して、記載のうえ、夢っくすのメールアドレス宛に添付でお送りください。会費の振り込み先は以下となっております。入金された際には、いつ頃振り込まれたかお知らせください。

年会費
個人会員：3,000円
家族会員：1,500円
団体会員：10 10,000円から任意の口数

郵便口座
口座番号：00550-7-74672
口座名称：うおぬま国際交流協会

発行元：
うおぬま国際交流協会 (通称：夢っくす)
E-Mail: office@umex.ne.jp
URL: <https://www.umex.ne.jp/>

活動拠点：
夢っくすサロン (国際大学 第3学生寮1階)
右の地図に場所が示されています。

担当者連絡先
高橋 和子 (会長) : 070-5083-3123

【編集後記】

今回も盛り沢山の記事をお寄せ頂き、掲載することができました。今後とも皆さんからの学生さんとの交流の記事をお待ちしております。今年も残り僅かですが、お体に気を付けてお過ごしください。(toshi)

